



一体型LEDベースライト iDシリーズ 40形、110形 埋込型 Cチャンネル回避型

本体品番 NNLK (NNLKH) 42742 NNLK (NNLKH) 82742

特注品番 FAHX7、FAHX30、FTE980D、FTE980DS、FTE981D、
FTE981DS、NSR83L9、NSR84L9

- ・上記()内は加工品番です。(以降、加工品番および特注品番の記載を省略します。)
- ・適合本体と適合ライトバーの組合せは承認図・カタログを参照してください。
- ・本照明器具はパナソニック製iDシリーズ専用本体とライトバーの組合せで性能を満足します。
- ・下表のライトバーをご使用の場合は、ライトバーに同梱の説明書も合わせてご覧ください。

ライトバータイプ	ライトバー同梱説明書確認項目	
プルスイッチ付	施工説明	・各部のなまえと取付方法 プルスイッチ固定金具の固定
明るさセンサ付	施工説明	・各部のなまえと取付方法 センサ動作モードの設定 (明るさセンサの場合)
	取扱説明	・動作について (明るさセンサの場合)
		・使用上のご注意 (明るさセンサの場合)
		・故障かな?と思ったときは (明るさセンサの場合)
		・商品仕様 (明るさセンサの場合)
		・明るさ記憶のリセットについて (モード1での使用)
アレンジ調色タイプ	施工説明	・施工上のご注意
	取扱説明	・使用上のご注意

ライトバータイプ	ライトバー同梱説明書確認項目	
ひとセンサ付	施工説明	・各部のなまえと取付方法 センサ動作モードの設定 (ひとセンサの場合)
		・施工後の動作確認 (ひとセンサの場合)
	取扱説明	・設定について (ひとセンサの場合) ・使用上のご注意 (ひとセンサの場合)
PiPiLiBeCoM 調光・調色タイプ	施工説明	・施工上のご注意 ・使用方法
	取扱説明	・ △ 注意 ・使用上のご注意
ウィズリモタイプ ウィズリモ2タイプ	施工説明	・施工上のご注意
	取扱説明	・ △ 注意 ・使用上のご注意

・下記組合せは、公共施設用照明器具型番となります。

公共施設用照明器具型番	ライトバー品番	本体品番
LRS3CC-4-23	NEL4200EN LE9/LA9	NNLK42742
LRS3CC-4-30	NEL4300EN LE9/LA9	
LRS3CC-4-37	NEL4400EN LE9/LA9	

公共施設用照明器具型番	ライトバー品番	本体品番
LRS3CC-4-48	NEL4500EN LE9/LR9	NNLK42742
LRS3CC-4-65	NEL4600EN LE9/LR9	

(一般屋内用) ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

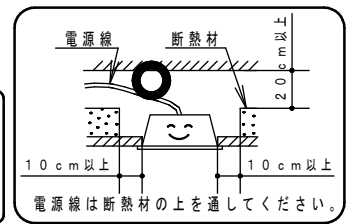
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- ライトバーを単独で使用しない。必ずパナソニック製iDシリーズ専用本体とライトバーの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は、施工説明にしたがい確実にこなす。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧 (定格電圧±6%)・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- ライトバーのカバーは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
- 水平天井取付専用です。他の取付はしないでください。落下の原因となります。
- 本体、ライトバーを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ライトバーが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
- 電源線には、ライトバーに同梱の耐熱チューブを使用して接続する。不備があると、感電・火災の原因となります。(ライトバーに耐熱チューブ同梱の場合のみ)
- 器具とPiPiLiBeCoMライコン及び通信補助器はペースメーカーや医療電気機器から20cm以上離して使用する。送信電波を受けると、誤動作の原因となります。(PiPiLiBeCoM調光タイプ)

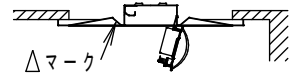


注意

- 直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所、粉塵の発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや器具の耐用年限が短くなる原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。(一部の食品や薬品・紙類また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。)光学性能に影響を与える場合があります。
- ライトバーのカバーはポリカーボネート製のため、直射日光の当たる場所や蛍光灯が近接する場所などの紫外線の多い場所、ヘキサソールやアセトンなどの有機溶剤が使用される場所では使用しないでください。カバーの劣化・破損の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。
- 電源方式により騒音 (うなり) が大きくなる場合がありますので、以下の配線を行なってください。
 - ・三相電源を使用する場合は、必ず接地側を器具の端子台のN側に接続してください。
 - ・電源と器具間に片切りスイッチを設ける場合は、必ず非接地側 (充電側) にお取り付けください。
- ライトバー端部を持つての取り扱いをしないでください。変形による破損の原因となります。

施工上のご注意

- ・ライトバーの取り付けには方向性があります。壁面付近に取り付ける場合、本体の△マークを室内側にしてください。
- ・電磁波低減タイプライトバーを使用される場合は器具内の送り配線はできません。電源線の器具間送り配線は、電源線を天井裏に戻して配線してください。
- ・ほこりの多い場所で使用される場合は、カバー内にほこりが堆積する場合があります。このような場合は防湿・防雨型ベースライトなどの密閉仕様器具をお勧めします。
- ・バーコードリーダーの機種によっては器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。
- この場合には、器具との距離を離すか遮蔽するなどの対策を講じてください。
- ・虫の飛来が多い場所で使用される場合は、ライトバー内に虫が侵入する恐れがあります。このような場合は防湿・防雨型ベースライトなどの防虫仕様器具をお勧めします。
- ・適合ライトコントロールは、当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については、適合コントロールの説明書をご確認ください。
- ・接続可能な器具台数は器具の定格電圧により異なります。詳細はライトコントロールの承認図、取扱説明書をご参照ください。



- ※ライトコントロールで照明器具電源を接続する場合、接続台数が減少する場合があります。ライトコントロールの定格容量とLED器具の定格を事前に確認してください。
- 結線について (LA、LR、DZ、DK方式の場合)
 - ・コントロールの結線は、コントロールの説明書をご確認ください。
 - ・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
 - ・調光信号線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
 - ・電線管をご使用の場合は、電源線と調光信号線を同じ管内に収納しないでください。

各部のなまえと取付方法



施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
ライトバーの取付・取外しは必ず電源を切る。

品番	【単体取付】	【単体連結取付】	器具取付 ピッチ	P寸法
	埋込穴寸法: W×L	埋込穴寸法: W×(L)		
NNLK42742	220×1235	220×(1251×N-20)	800	451
NNLK82742	220×2440	220×(2457×N-20)	1200	1257
			1400	1057

【NNLK82742+ライトバーの例で説明しています】

1 取付前の確認

- ・器具質量 (6.4kg: NNLK82742+ライトバーの場合) に十分耐えるよう、取付ボルトの強度・天井材の強度を確保する。
(取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。)
- 不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開削

- ・埋込穴、取付ボルトを図の様に用意しておく。

3 本体の取付

- ・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- ・電源ブッシングがついていない電源穴を使用する場合は、必ず電源ブッシングを付け替えてください。
- ・本体を取付ボルトで確実に取り付ける。
(取付ボルト推奨トルク値: 0.6N・m)

※ボルトの締め過ぎにご注意ください。
下図を参考に調整してください。
本体が変形し、ライトバーが取付け難い原因となります。

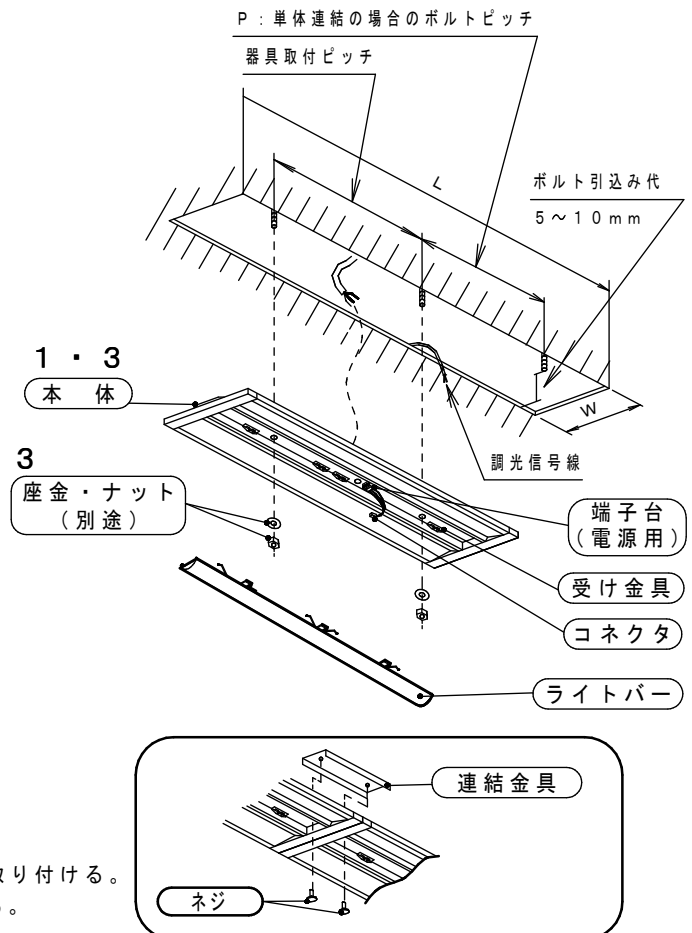


不備があると器具落下の原因となります。

【単体連結の場合】

- ・本体の外側に連結金具 (NNFK91000 (別途)) を取り付ける。
- ・本体同士を寄せ合いながら、取付ボルトで確実に取り付ける。

以降の取付方法については、ライトバーに同梱の施工説明書をご参照ください。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ・ご使用前に、ライトバーに同梱の取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

■ 定格

- ・ライトバーに同梱の説明書を参照してください。

■ リサイクル 照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>
0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月~土/9:00~18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460 (FAX)